



# 野の花新聞

No. 16 2011年9月号 「金魚」

みなさま、こんにちは。

野の花の みなかた あきこ です。

猛暑と節電の夏、みなさまはどのように過ごされたでしょうか。9月は 夏の名残がそこに残っていて、疲れも出やすい時期ですね。

爽りの秋は、もうすぐそこ。あとひとがんばり、体をいたわりながらいきましょう。

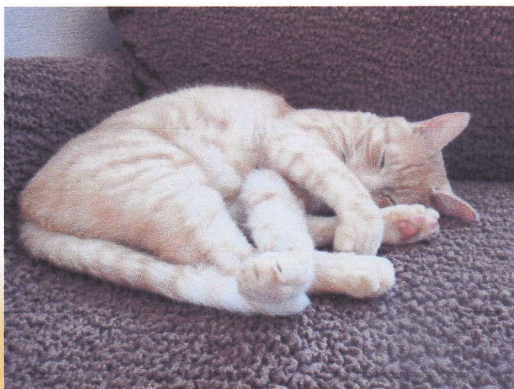


さて、今月は テーマ選びに苦労しました。書きたいことがたくさんありすぎて、なかなかひとつに決められなかったのです。

でも！やっぱり！新しい家族をご紹介させていただくことにしました。また 動物話で、たいへん申し訳ないのですが・・・

夏は、雑誌などで水関係の特集が増えます。心惹かれたのは、金魚の記事でした。涼しげな水草の間を、ゆらゆらひらひらと優雅に泳ぎ、なつくと、人がそばに行くと寄ってきて、手からエサを食べるようになる。そんな記事を読んでいると、もう 金魚をのんびりながめている自分が想像されて、早速 金魚屋さんへ駆け込んでしまいました。金魚屋さんで、あれもこれもわからないことを質問し、気に入った子たちを「お取り置き」してもらい、まずは水槽を買って帰って水作りです。2日後、ついに金魚のお迎え。朝から会う人ごとに「今日 金魚が来るの」と言い、「え？何の告白？」と笑われ・・・。2匹のわきんは、めでたくわが家へやってきました。なんて美しい生き物なのでしょう。赤 白 金 黒の入り組んだ模様の体が、緑鮮やかな水草の間をきらめきながら泳いでいます。水槽の向こう側には、青空と神戸の街が広がり・・・ああもう その美しさだけで、何の文句もありません、たとえ なついてくれなくても・・・と思っていたら、たった3日で、私の方へ走って(!)泳いでくるようになりました。どうも・・・たいへん食い意地が張っておられるようで・・・

それにしても、私はいつも、具体的にありありと想像すると、あっという間に行動に移してしまうのですね。そのおかげで、いろいろな楽しい経験ができるから、ま、いっか、と思います。せっかく 今世に命をいただいたのですから、いっぱい楽しんで、「神さま 楽しかったです、ありがとうございます」と言って卒業したいなあ。



ふう

また 複雑怪奇な格好で寝ています

どれが足で どれがしっぽなんだか・・・

